

## 生徒の自己肯定感の涵養～生徒自らが考え実行する生徒会行事づくり～

熊本県立人吉高等学校定時制課程 TEL 0966-22-2261

本校は、全校生徒16名の小さな定時制高校です。生徒はとても純朴な気質をもち、学業と就労を両立しながら学校生活を送っています。本校生が抱えている課題の一つに「自己肯定感の低さ」が挙げられます。この課題を克服することにより、自らの能力や可能性に対して、より一層目を向けることができるようになると考えています。そこで、生徒の「自己肯定感の高揚」に向けた本年度の取り組みの一端を紹介します。



書道クラブによるオープニングパフォーマンス



地元食材を使った食物バザー



「夜市」を楽しむ子供たち

本年度の重点目標である「生徒会の主体的な活動を支援し、生徒自らが考え実行する生徒会行事、学校行事づくり」に向け、「校内文化クラブ発表会」（本校における文化祭に位置づけられる伝統行事）の企画・立案すべてを、思いきって生徒会に任せることにしました。その後、生徒から「行事名の変更」と「ステージ発表の充実」という2つの提案が寄せられ、職員との対話を重ねながら、その想いを形にしていきました。最終的に、行事名を「人定祭」に改め、7年ぶりの「人定太鼓」復活や、生徒会活動報告を行うことなどによりステージ発表の充実を目指すことになりました。

人定祭当日、生徒はいくつもの役割を果たすとともに互いに協力し合いながら、約3週間かけて準備してきた成果を十分に発揮することができました。観覧いただいた方々からも好評をいただくことができ、何よりも自分たちで新しい行事をつくり上げた「達成感」や「満足感」に満ちあふれた生徒の姿が見られ、自己肯定感の高揚につなげることができたものと考えています。

これからも、生徒に寄り添いながら、生徒の主体性が発揮される教育活動を推進し、自己肯定感の涵養に努めていきます。



7年ぶりに復活した人定太鼓